

館) 熊勢健治 西田將二編 『乃木大將遺墨解説』 (大正二年十一月十日乃木大

將遺墨發行所) 學智院輔仁會編

『乃木院長記念録』 (大正二年十

月二十四日三光堂、白英堂賣別)、

村田峯次郎著 『乃木將軍傳』 (大

正四年六月五日水竹書院)、日本

弘道會有志青年部編 『嗚呼乃木家

問題』 (大正五年二月十日日本弘道會有志青年部)、米田治右衛門著

『乃木將軍舊邸の記』 (大正五年九月十二日兵庫・濱田篤二郎刊、京

都・乃木舊邸記念館)、 『乃木神社獻詠歌集』 (大正六年五月二十九

日京都・乃木神社獻詠會)、 塚田清市・小笠原長生・河合操著 『乃木

大將の面影』 (大正六年九月五日乃木會編刊)、 『乃木將軍寫眞畫報』

(五版・大正十五年二月十一日菊香

會本部)、 關根順二著 『乃木大將』

(昭和九年十一月二十四日建設社

『少年大日本史』)、 『乃木將軍遺

跡の葉』 (昭和十年四月二十日富山

・江木爲二編刊)、 菊池實著 『東郷平八郎 乃木希典』 (昭和十一年五

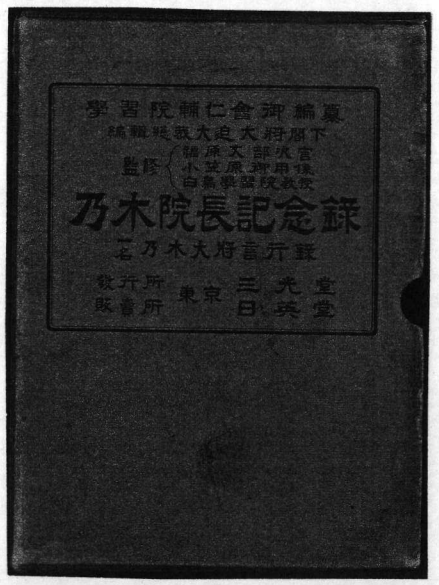
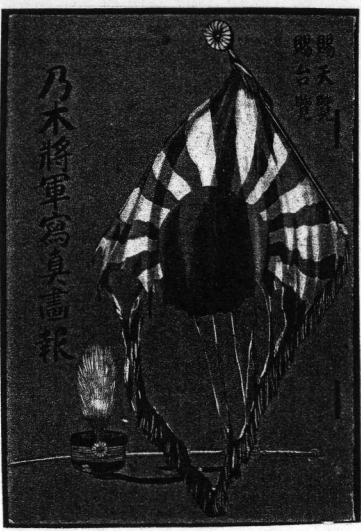
月二十八日新日本社 『日本歴史物語全集』)、 長谷川正造著 『景御乃

木將軍』 (昭和十一年十一月代膳寫印刷)、 學智院歴史學會編 『學智院

乃木院長筆蹟及手澤本自録稿』 (昭和十二年一月二十日學智院歴史學

會)、 木村毅著 『大山兒玉 乃木』 (昭和十四年五月二十日大日本雄

辯會講談社)、 熊倉多作述 『野木神社と乃木大將』 (千賀覺次記、昭



和十四年九月十一日茨城・茨城縣古河乃木講社）、
『榊壇下乃木院長室』（昭和十四年十一月二十七日學齋院）、
渡部永著『乃木大將と尋道』（昭和十五年十一月十日大日本文化協會出版部）、
櫻井忠溫著『大乃木』（昭和十八年一月一日潮文閣）、
吉野有武著『嗚呼乃木將軍』（昭和十八年七月十六日大日本雄辯會講談社）、
植草圭之助著『乃木希典』（昭和十八年十一月五日學齋社「學齋社文庫」）、
三島通陽著『回想の乃木希典』（昭和四十一年四月十五日雪華社）、
吉川寅二郎著『嗚呼至誠の人乃木希典將軍』（昭和五十九年十月十一日展
藍社）等。